

SAGAMIHARA GREEN

URL <https://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp>

相模原市まち・みどり公社機関紙
さがみはらグリーン

★「さがみはらグリーン」は、まち・みどり公社本社
(けやき会館内)をはじめ、市内の市立公園や公民館、
図書館等に配架しています。

Vol.63 2020.09

花を楽しむ生垣
ベニバナトキワマンサク
(開花期：春)

2～3ページ▶

樹木医に学ぶ

生垣(いけがき)

みどりのボランティア団体紹介
～大野台みどりを守る会

4ページ▶

市内の動植物を訪ねて

市境(相模原/大和)で見聞きできる野鳥

暮らしを彩るボタニカル・ライフ

～多肉植物[サキュレント プランツ(2)]～

ガーデンデザイナー

志村みかさん

多肉植物は、成長期ごとに3つのグループ「春秋型」「夏型」「冬型」に分類されます。植え替えはそれぞれの「成長期の始めの頃」に行えば、植え替え時に根を切っても、自力で回復し、また伸びてきます。

植え替えのほかにも、多肉植物を上手に育てる大切なコツがあります。

本来の自生地は、日差しがとても強く乾燥していて、気温40℃の場所でも育ちますが、湿気はあまり得意ではありません。日本で育てるには、2つの注意が必要です。

1 雨の当たらない屋外に置きましょう。屋外管理が基本で、室内では日差しが足りず生育が困難になります。

2 水は、10～20日に1回くらい、さっとかける程度で十分です。ほかの植物と同様にすると水が多過ぎて、根腐れを起こします。過湿にしないことがコツです。

近年人気を集めるハオルチアは、もともとは岩陰や大木の下など暗い場所に生息し、ぶっくりと膨らんだ半透明の葉が特徴です。わずかに差し込む光をも取り込めるように葉先に半透明の部分があるハオルチアだけは室内の明るい場所でも育てられます。秋・冬は特に日差しも短くなるので室内用に鉢あっても楽しいですね。



バキフィツム等
「春秋型」のプラグ苗



ハオルチア

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社は、相模原市まち・みどり公社が推進する「みどり豊かなまちづくり」に協賛しています。

公益財団法人 相模原市まち・みどり公社は、地域のために活動する自治会を応援しています。

生垣のいろいろ

生垣のある通りを通るとき誰もが連続した緑の豊かさと清々しさに心の潤いを感じるはず。生垣は街の景観の一部を担っています。

一方、生垣はその緑の濃さをもって外界を遮断し、生活の場の安全を守る機能も持ち合わせています。

生垣には様々な樹種が採用されてきました。マサキ、イヌツゲ、カイヅカイブキ、キンモクセイ、ツバキ、サザンカ、サンゴジュ、ヒイラギモクセイ、レッド・ロビン、ベニカナメモチなどなどです。その強い萌芽力は緑の壁を作るには欠かせない能力です。萌芽力が強いということは、枝のどこで切っても新しい芽をすぐに出すという性質を持ち備えていることです。

しかし、これらの樹種はマサキスガ、ツゲノメイガ、チャドクガ、サンゴジュハマシ、テントウノミハマシなどの虫や炭そ病、ごま色斑点病などの病気、あるいは生理的行き詰まりによってその萌芽力をそがれ、今では街中で見かけることが少なくなっています。

樹木医に学ぶ 生垣

【いけがき】

樹木医 内藤 研二氏
(相模原造園協同組合会員)



今の生垣のトレンドは「花を楽しむ」

トキワマンサクは、萌芽力が強く、花もたくさん着けるといふ生垣の優等生です。今のところ病害虫で大きな被害は出ていません。

3～4月の開花後、5月から6月までの間に刈込みをします。刈込みのコツは、新芽がしっかりしてから頻度を多くして刈ることです。そうすることにより葉の密度を上げ、早く生垣ができあがります。

西洋イボタノキ(プリベット)は、樹勢強健で成長も早く、さらに土性を選ばず、栽培しやすい樹種です。萌芽力もあり、刈込みによく耐えます。

6月に白い花を樹冠全面に着けます。剪定は花後、すぐに行った方が良いでしょう。その後伸びた枝は軽く伸びたところだけ摘まむようにします。これは、来年の花を多く着けさせるためです。

ハマキムシが着きますので注意してください。それほど大きな害にはなりづらいですが、放っておくと樹勢に影響が出ますので、早めに対処してください。斑入りの葉を持つものをシルバープリベットと呼びます。こちらは葉の美しさも楽しめます。

花と香りを楽しむ生垣

カラタネオガタマの花はバナナとリンゴを合わせたような甘い香りをほのかに漂わせます。コブシやモクレンの仲間で、花は4月中旬から5月下旬にかけて咲きます。

枝の中に花を着けるので、あまり深くは刈らない方が良いでしょう。剪定は4月～5月に行います。ふところに陽を入れるように枝を少し透してください。



カラタネオガタマ (モクレン科)

花と実を楽しむ生垣



フェイジョアは南米原産の果樹です。ニュージーランド、オーストラリアで生産されています。日本には明治時代に輸入されました。6月に珍しい形をしたエキゾチックな花を咲かせます。10月中旬～12月中旬に実を着け、生食のほかジャム、ゼリーや果実酒として利用されます。葉もきれいで萌芽力もありますが、花は枝の一番先と、途中の枝の先に着けますので、深くは刈れません。枝の途中から出た小枝の先を残すようにしてください。剪定は3月が最適です。刈込みばさみも使えますが、プラスふところに陽を入れるように木ばさみなどで枝を透かしてください。

楽しく新しい生垣にどうぞ挑戦してみてください。



プリベット(花)

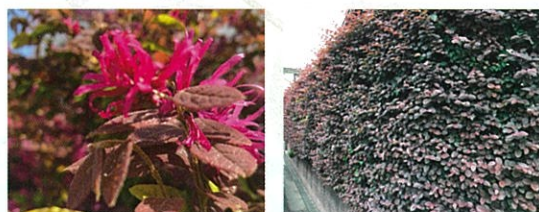


シルバープリベット (モクセイ科)



フェイジョア (フトモモ科) 写真提供: 国営昭和記念公園

※まち・みどり公社では、生垣設置に奨励金を交付しています。詳細は、次ページをご覧ください。→



トキワマンサク (マンサク科) の種類: 青葉で白花 赤葉で白花 赤葉で赤花があります。赤花のものを特にベニバナトキワマンサクと呼びます。



大野台みどりを守る会 (相模原市森づくりパートナーシップ協定締結団体)

「大野台みどりを守る会」は、「木もれびの森」の核である「相模原中央緑地」を主な活動フィールドとする団体で、今年で、結成22年目を迎えました。メンバーは、会社員や自営業の方々など30～70歳代の幅広い層で構成されています。

かつて「木もれびの森」は、廃家電や建築廃材などが不法投棄されている状態でしたが、「自分たちの手で豊かな自然を取り戻そう!」と、初代会長となる川手五郎さん(故人)ら、地元メンバーが清掃活動を開始し、平成10年3月に「大野台みどりを守る会」を結成。平成30年5月には、「第29回みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰」を受賞しました。

活動の内容は、下草刈り、枯枝の収集、落ち葉かき、散策路の整備、ベンチの点検のほか、万葉集の和歌の木札(写真参照)の管理・修理等です。

「ボランティアだからこそ、自主性・自発性を尊重して活動しています。幅広い世代の参加者を募集しています!」と会長の亀田さん。

同会は、若い世代の参加も多く、次世代の育成にも力を入れています。自らの手で、このみどり豊かな「木もれびの森」を守り育てる活動に興味のある方は、ぜひ、一度、見学にお出かけしてみたいでしょうか。



森の中にある植物にちなんで万葉集の和歌の木札。40首の木札が設置されています。



ボランティア募集

活動日: 主として毎月第3日曜日
活動時間: 午前9時～11時
連絡先: 090-9248-0611 会長 亀田 修さん
年会費: 1,000円

相模原市森づくりパートナーシップ協定締結団体とは…

相模原市内に残された良好な自然環境を将来にわたって保全・継承していくため、市が維持管理方針を定めた区域について、市とルールを協議して協定を結び、市民の皆さまの手で森づくりの活動を進めていただいている市民活動団体です。現在、市内5カ所・5団体が協定を締結しています。

(公財)相模原市まち・みどり公社は、この活動・団体を支援しています。



市境（相模原/大和）で見聞きできる野鳥 「3密」を避け、このコースで心と身体をリフレッシュしませんか

～東林ふれあいセンターから「つるま自然の森」へ～

野鳥観察するときの対象地域は、人間生活の都合でできた行政境界にこだわることなく、まだまだ川や疎林、畑、緑地などの自然環境が残る“市境域、もお勧めです。

相模原市の東林地区と上鶴間近辺は大和市と隣接しており、地形は高低差もあり、東林ふれあいセンター付近の相模緑道（旧灌漑用水路跡）を出発すると、緑道は、途中で横浜水道道緑道と並行して「グリーンコリドー：緑の回廊」を形成します。その回廊を1kmほど東に進めば、そこに近接するのが両市にまたがる「つるま自然の森[※]」となっています。

この春、コロナ禍を避け、数回観察された会員の渡辺貴子さんから、「エナガのヒナ団子が見られたり、アオジ、オオルリ、キビタキなどの囀りが聞かれ、何と、渡り途中のこの地での珍鳥コサメビタキの写真も撮った」という報告がありました。

最近では、いささか“街並みウォッチング風、”となりますが、秋から冬、そして春季までは“散歩がてらの自然観察、”としてお勧めのコースです。

※相模原市側は「東林ふれあいの森」と呼称

「東林野鳥の会」代表 田中 公夫さん、写真 渡辺 貴子さん



エナガの「ヒナ団子」



コサメビタキ



最近の野鳥の出現状況

- * 留鳥（年間を通して見られる）キジバト、ツミ、コゲラ、アオゲラ、オナガ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、コジュケイ、ドバト など
- * 冬季は、上記の留鳥のほかに、モズ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、ルリビタキ、カワラヒワ、シメ、アオジ、トラツグミ、オオタカ、ノスリ など
- * 春季は、上記の留鳥のほかに、ツバメ、キビタキ、ムシクイ類 など

◇ 目視のほか、声のみで確認できる場合も含まれます。

◇ 近年では、種数や個体数に順次減少がみられ、重要な観察地である林縁部や畑などの減少が懸念されています。

生垣設置奨励金

[限度額10万円（戸建）、30万円（共同住宅）][※]

新たに生垣を設置する場合、生垣の長さ（3m以上）に応じた奨励金を交付しています。4m以上の公道に面した場所への設置等の条件がありますので、詳細はお問合せください。

みどりのまちづくり奨励金

[限度額20万円][※]

建築物の屋上や壁面、駐車場の緑化等に取り組む市民や事業者の方を対象に、工事費の一部を奨励金として交付しています。交付にあたっては条件等がありますので、詳細はお問合せください。

屋上や壁面の緑化

生垣の設置

駐車場の緑化

※各種条件によります。着工前に必ずお問合せください。

着工後の申請は対象外です。ご注意ください。

みどり推進課 TEL：042-751-6624

相模原市まち・みどり公社が推進する「みどり豊かなまちづくり」を応援しています

広告

KIRIN

広告

相模原
造園協同組合

http://www.sagamihara-zouen.jp/
TEL：042-773-8977 FAX：042-773-5051

お庭のお手入れや
緑化工事など、
お気軽にご相談ください。